



矢沢たかお

自由民主党 川崎市議会議員

みなさん、こんにちは。川崎市議会議員（宮前区選出）の矢沢孝雄です。

第26回参議院選挙が7月10日投開票で行われました。それぞれのお立場で選挙にご協力を頂いた皆様に感謝申し上げるとともに、故安倍晋三元総理の意思も含め、政権与党には頂いた国民の負託に全身全霊で応え、山積する国家課題に正面から向き合ふことが求められていると強く感じます。土台を支える一人として、「謙虚に丁寧に前向きに」を信条に活動を展開して参ります。



Photo:建設中の川崎市役所新本庁舎
Vol 26
2022April
~
2022July
討議資料

第三回定例会における一般質問 3項目

1 川崎市中央卸売北部市場の機能更新～基本計画を今年度策定！～

●背景

昭和57年7月1日宮前区に新設大型市場として「北部市場」は業務を開始しました。私が生まれた時からあつた北部市場は開設から40年が経過し、施設の老朽化は著しく、本市では現在令和4年度中に機能更新の考え方や手法等を取りまとめる「基本計画」の策定を目指しています。少なくとも50年に一度の機会、市民・場内事業者にとって望ましい市場の形を議論しています。



●コンパクト化が予測される北部市場

新しい北部市場を考えいく上で、重要なのが取扱量・金額の推移です。北部市場の取扱金額の推移は、平成2年以降、場内事業者の再編があった平成25年から26年を除き、低下傾向で推移しています。

また、部門（青果・水産・花卉）毎に見た場合、青果部を除き、ピーク時と比較して取扱量の減少が続いている、北部市場の機能更新を検討する上で、市場のコンパクト化が見込まれています。



●これからも必要な公共施設

取扱量・金額の減少が続いている一方で、「大量の食品を集荷して分荷する」という物流拠点機能は将来に亘り不变であり、北部市場においては、154万市民の食を支える社会インフラ及び災害時のライフラインとしての役割を担っており、一定の公共関与の下、将来に亘って確実な機能維持が必要と判断しています。

●余剰地の活用

市場の高度化・コンパクト化が見込まれる中、発生した余剰地を含め、資産の有効活用による収入増や市民に親しまれる市場化を目指した取り組みとして、市場との一体性と周辺環境との調和に向けた検討が必要です。



これまで継続的に取り上げてきた川崎市唯一の中卸売市場である北部市場（宮前区）について、数十年に一度の機会となる機能更新に関する基本計画の検討が、本年度策定に向け進んでいます。市民・地域の皆様にとって求められる施設整備となるよう取り組んで参ります。

Vol 26
2022April
~
2022July
討議資料

2 都市農業振興施策について

特定生産緑地・市内産農産物活用
物価高騰対策

QRコード読み取りで
詳細内容が確認できます

3 幼保無償化事務センター業務について

業務プロセス改善による
負担軽減の提案

QRコード読み取りで
詳細内容が確認できます



日々の活動

令和4年2022
4月 ▶ 7月

活動の一部を
写真で紹介します



しっかり聴く市民相談所

市民相談お気軽にお問い合わせください！

矢沢たかお事務所・・・神奈川県川崎市宮前区初山1-20-12

電話 044 - 976 - 2727

FAX 044 - 976 - 8686

mail mail@yazawa-t.info

矢沢たかお 検索

<https://www.yazawa-t.jp/>

[twitter](#) [facebook](#) [Instagram](#)



- 令和4年
 - 第3回定例会 (6月1日～29日)
 - 常任委員会
 - 参院選 (6月22日～)

- 令和4年
 - 市内団体予算要望ヒアリング (2月14日)
 - 常任委員会
 - 参院選 (~7月10日)

- 常任委員会
 - 議会運営委員会

- 令和4年
 - 第4回定例会 (9月初旬～)
 - 常任委員会

- 令和4年
 - 第4回定例会 (~10月中旬)
 - 常任委員会

- 令和4年
 - 第5回定例会 (11月下旬から12月後半を予定)

第3回川崎市議会 定例会のご報告

6月6日から6月29日までの期間で、令和4年川崎市議会第3回定例会が開催されました。今議会では、追加議案含めて議案23件、報告14件が上程されました。ひとり親子育て世帯への特別給付金支給事業約12億円（児童1人当たり5万円）、本市が国から「脱炭素先行地域」に選定されたことに伴う太陽光発電設備等に対する補助金事業約8.6億円など、計46億円の補正予算が可決されました。

また、居住実態について疑惑がもたれている秋田恵議員に対して、事実関係の説明を行うことを求める決議議案を各会派共同提案し、当事者を除く全議員賛成で可決されました。市政一般にあたっては、民間活用範囲を広げた「市民館・図書館の管理運営の考え方」、「物価高騰が学校給食に及ぼす影響と今後の支援について」、「小学校における校庭開放及び教室シェアリング事業」、「市立小中学校におけるマスク着脱について（熱中症対策）」など、答弁含め計246分に渡って代表質問を行いました。

【代表質問者】山田瑛理議員（川崎区選出）



上：橋本 勝 議長
下：山田 瑛理 議員

特別自治市制度実現へ要望活動を活発化

二重行政解消に向けて、本市では新たに組織編成を行い、特別自治市構想実現に一段階ギアを上げて取り組みを加速していく環境を整えました。市長に現在の国や他の政令指定都市との連携状況、また、市民理解の醸成に向けた取り組みについて伺いました。

市長からは、「本年1月に第33次地方制度調査会が設置され、ポストコロナ時代における国と地方の関係などについて、調査審議が行われていることから、大都市における現場の実情を調査会の議論に反映させるよう、他の指定都市とともに特別自治市の必要性をあらゆる場面で訴えかけ、制度化に向けた取り組みを進めていく。」さらに、市民理解の醸成については、「町内会・自治会などへの理解浸透が非常に重要であるという認識を持ち、様々な現場に職員が出向き、制度の趣旨等をしっかり御理解いただけるよう努めていくと共に、次年度の広報戦略として、制度の内容をわかりやすく説明する動画や冊子等の作成を行い、全町内連合会や各区内会等関係団体への説明を皮切りに、様々な機会を捉えた周知を図っていく。」との答弁がありました。

我が会派も市行政と連携し、積極的に県に働きかけを実施して参ります。



6月13日に行われた市内選出自民党国会議員への要望活動の様子。
正面に正副団長、右側に市長・市担当者
左側に国会議員

新型コロナウイルス対策について

●新型コロナワクチンの接種（川崎市HPより）

川崎市の陽性者数は、令和2年3月13日からの累計で257,646人（R4.8.2現在）です。

＜新型コロナワクチンの 4回目の接種券に関する情報＞

60歳以上の方	接種券を送ります。（手続きは不要です）
18歳～59歳の方	対象となる方は接種券の発行申請が必要です

★ 60歳以上の方は、5月27日より、3回目の接種時期に応じて、順次発送されています。

★ 18～59歳の方は、接種券発行申請手続きの案内が、6月17日より3回目の接種時期に応じて、

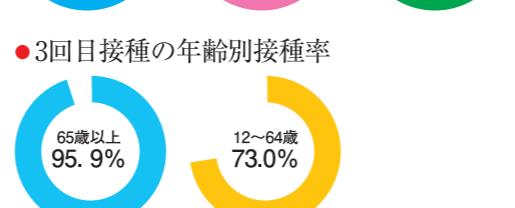
順次発送されています。接種の対象に該当する基礎疾患等を有し、接種を希望される方は、接種券の発行申請手続きが必要です。接種券の発行申請は、接種券の発行申請手続きの案内が届いた方から受付開始となります。

＜川崎市民の接種率（12歳以上） 令和4年6月28日現在＞

●12歳以上



●3回目接種の年齢別接種率



詳しくは右記QRコードより→→→
『川崎市新型コロナウイルス感染症
総合ページ』でご確認ください。



南武線 向河原駅前の踏切に「賢い踏切」を導入へ！

JR東日本は本年5月、向河原駅前踏切に「賢い踏切」の導入を発表致しました。

賢い踏切とは停車列車に対して踏切警報開始地点を新たに設けることにより、通過列車より踏切の警報時間が若干短縮でき、無駄な待ち時間の解消を図るシステムで、駅近傍の踏切には効果があるとされています。これにより朝の通学時間帯1時間当たりで数分程度の踏切警報時間の短縮を見込むとし、本年12月の導入を目指しています。

地域の皆さまからのご要望が実を結んだ結果です。今後も、地域の安全安心な生活環境の確保のため、区間内の全踏切の除却を目的としたJR南武線連続立体交差事業の早期完成を求めて参ります。



向河原駅前踏切（写真提供：川崎市）

食材価格の高騰がもたらす影響について

世界規模で物価が高騰し、生活必需品の値上げが市民生活を直撃する状況にあります。政府は、4月26日の原油価格・物価高騰に関する関係閣僚会議において決定したコロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」の中で、地方創生臨時交付金を活用した地方公共団体の実施する対策への支援を打ち出しました。

学校給食費を値上げする自治体も出てきている中、本市においても、食材価格の高騰が継続すれば、必要な献立の提供が困難になる恐れがあるとのことです。そこで、食材費高騰による子育て世帯の負担軽減の観点からも、国の交付金を活用し、学校給食費等の軽減の方向性を明確にすべきだと質問しました。市長からは「当該交付金の趣旨を踏まえ、物価高騰に伴う保護者の負担増につながらないよう、活用について検討を進める」との答弁がありました。値上げ圧力が子育て世帯に転嫁されないよう、補正予算の計上も踏まえ求めて参ります。



1食あたりの基準額320円で提供している
現在の中学校給食

扇島地区土地利用方針の策定に向けて

来年9月末を目途に高炉等の休止が公表されているJFEスチール（株）東日本製鉄所京浜地区の大部分を占める扇島地区ディズニーリゾートの総面積である200haを超えると言われており、この巨大な島の将来の利活用のあり方の検討は、本市史上最大の取組と言っても過言ではありません。市長も今般報告した「扇島地区土地利用方針の策定に向けた検討状況（中間報告）」に関して、「千載一遇のチャンス」と述べるなど、当プロジェクトの大きさに期待感は大きくなりますが、一方で、50年先、100年先の臨海部の顔を作る使命感と責任感は重大です。

我が会派は、これまで、専門家や有識者による会議体だけでなく、将来的な可能性をあらゆる方面から追求すべく、投資家や実業家を巻き込んでの幅広く、深い検討の必要性を訴えてきました。そして、今回の代表質問においても、「ネームバリューを高めるために有力な投資家や実業家を登用し、投資を促し、予算を確保しての企業等の誘致には市長のトップセールスが求められる」と指摘。市長の交渉力や外交力について決意を質しました。市長からは「土地利用転換を早期に実現させるため、本市の未来を共に創る力がこの地に結集するよう自らリーダーシップをとり、多くのステークホルダーに働きかけ、積極的に取組を推進する」と答弁がありました。引き続き、国策誘導をはじめ、あらゆる産業を刺激し、川崎臨海部の未来の顔となるよう、我々も取り組んで参ります。

矢沢たかお プロフィール

- 昭和60年8月28日、川崎市宮前区初山に生まれる（36歳）
- 川崎市立菅生小学校 卒業・川崎市立菅生中学校 卒業
- 法政大学第二高等学校 卒業・法政大学情報科学部 卒業
- 平成20年 伊藤忠テクノソリューションズ（株）入社
- 平成26年 政治活動に専念するため同社を退社・平成27年川崎市議会議員（宮前区）初当選・平成31年二期目当選
- 令和4年度 健康福祉委員会 委員長
- 趣味：剣道四段（五段に向け修行中）、空手二段、書道 毛筆三段 硬筆二段